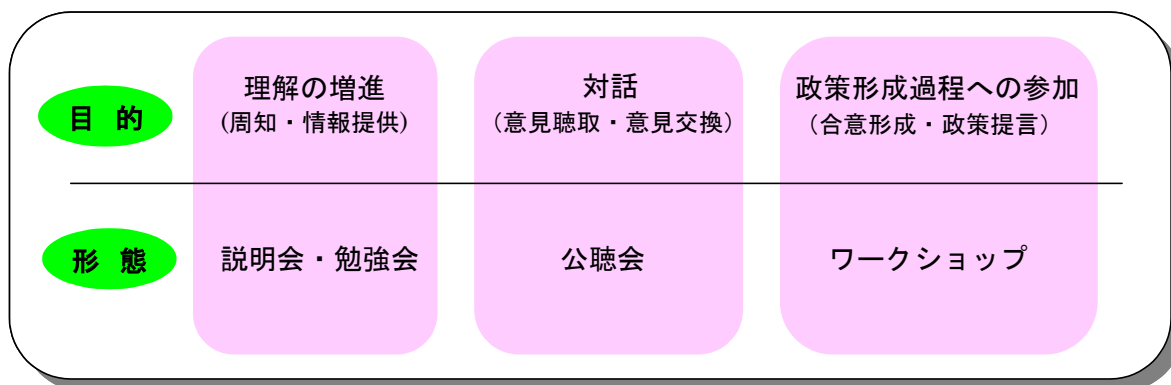


円卓会議の内外の事例

さまざまな目的や形態で開催される「円卓会議」



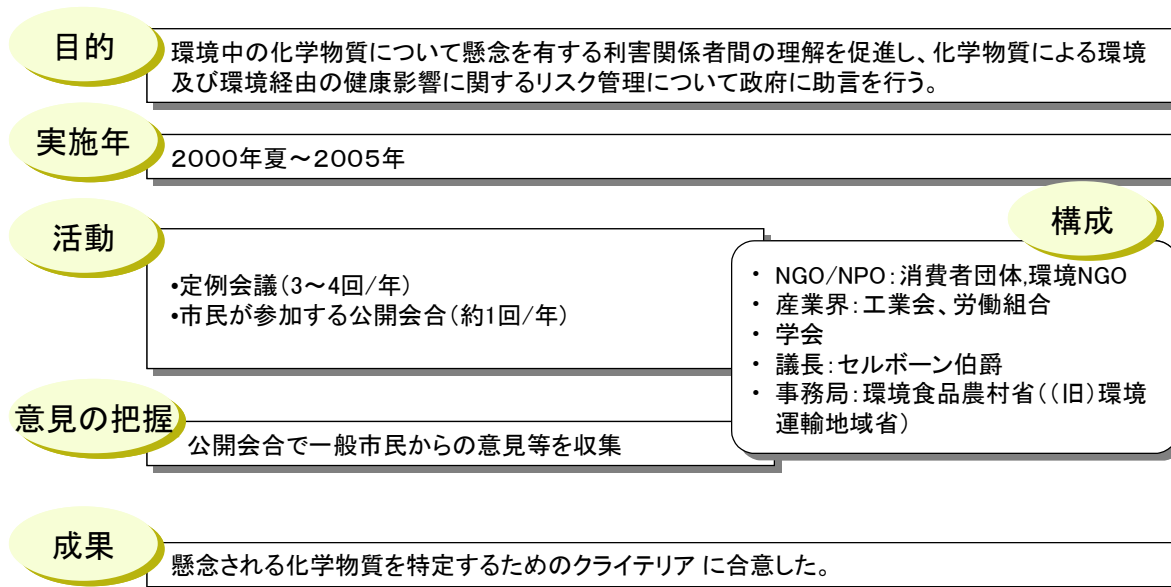
事例1(英国)
化学物質ステーク
ホルダーフォーラム

事例2(カナダ)
環境と経済に
関する円卓会議

事例3(デンマーク)
コンセンサス会議

化学物質ステークホルダーフォーラム(イギリス)

政府の化学物質戦略である「化学物質の持続可能な製造・使用」(1999年)に基づき設置



環境と経済に関する円卓会議(カナダ)

1994年に制定された法律に基づき設置

目的

持続可能な開発を促進するために、意志決定者や一般市民への助言・提言を行う。

実施年

1996年～

活動

- ・定例会議(4回/年)
- ・部会
- ・市民を交えたワークショップ(1回以上/年)

構成

- ・NGO/NPO
- ・産業界
- ・大学
- ・労働組合
- ・金融
- ・コンサルタント
- ・関心の高い個人
- ・事務局:政府関係者

意見の把握

一般市民を対象にしたフォーラムの開催
電子メールなどでの意見の受付け

成果

- ・有害物質の管理についても検討対象とし、提言がまとめられた。

コンセンサス会議(デンマーク)

目的

市民参加により科学技術の評価について意見や提案を行う。

実施年

1980年代から (デンマークで市民の参加による合意形成のために開発された。)

活動

- ・標準的には、2回の準備会合、2泊3日の本会議からなる。
- ・専門家パネルからの情報を踏まえ、市民パネルが合意・報告書を作成する。

構成

- ・市民パネル(公募により選出)
- ・専門家パネル
- ・会議の進行・調整役
- ・運営委員会
- ・事務局

意見の把握

一般市民から構成される市民パネルの意見、質問等を集約し、合意・報告書としてまとめられる。

成果

「食品・環境中の化学物質許容限度」に関するコンセンサス会議(1995年)では、閾値の科学的、倫理的、技術的事項、クリーンテクノロジーと生活の質、情報提供などについて質問と回答がまとめられた。